

腐朽診断カルテ(レジ)

No. 1

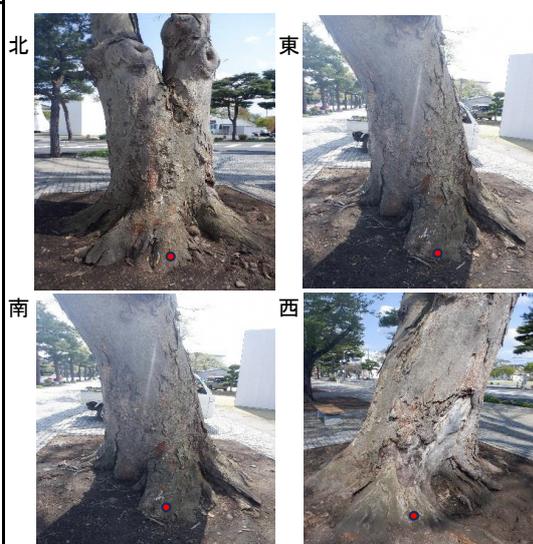
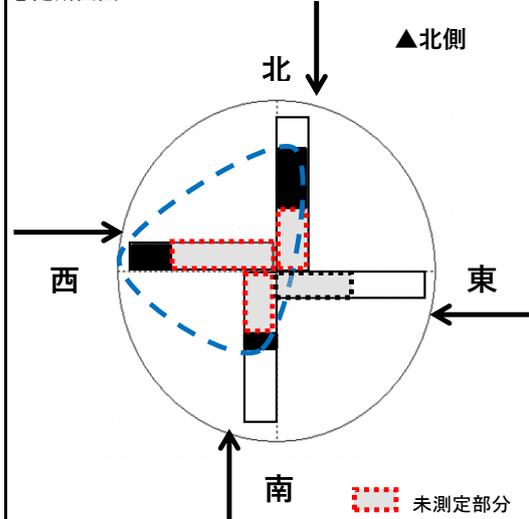
街路樹診断カルテ番号: 1

事務所名: NPO法人フォレスト奥入瀬

路線名	官庁街通り	樹木医名	逢坂 淳(No.1750)	診断日	R7年5月8日
樹木番号	1	樹種名	ケヤキ	樹高	m
				幹周	cm
				枝張	m

測定高さ	0.1 m	測定直径	193 cm ↔ 190 cm	機種名	PD-600
俯角	30°	補正直径	222 cm ↔ 219 cm	測定位置写真(写真の赤点が測定位置)	

想定断面図

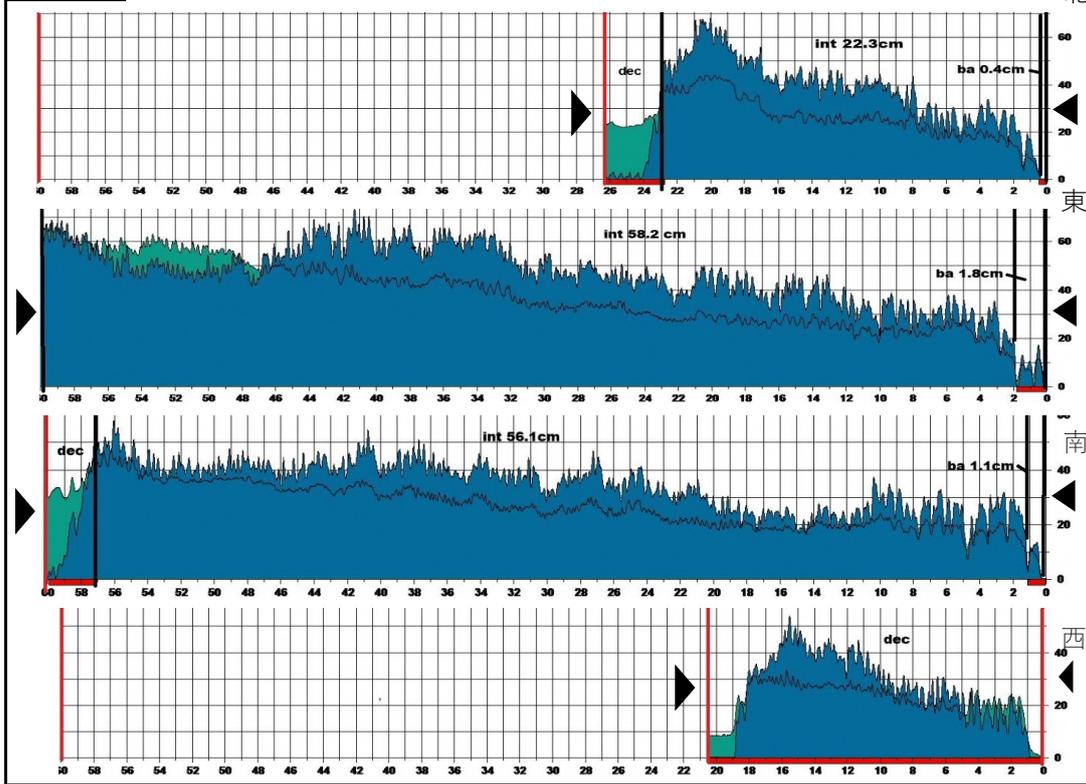


t/R率	各測定方向のt/R率とt/R率の計算式(0.3未満は測定位置の強度が脆弱)			
	北 0.202 (22.3) / (222.0/2-0.4)	東 1.000 (58.2+49.5) / (219.0/2-1.8)	南 0.510 (56.1) / (222.0/2-1.1)	西 0.000 (0) / (219.0/2-0.0)

腐朽空洞率 (%)	32.2 %	空洞率計算式(50%以上となると倒木危険)
		$\left(\frac{222.0-0.4-1.1-22.3-56.1}{222.0-0.4-1.1} + \frac{219.0-1.8-107.7}{219.0-1.8} \right)^2$

所見 (未測定部分として 北と南と西は腐朽部と判断し東側は健全部と判断しました。)
 総合判定は 腐朽空洞率32.2%となりB2(著しい被害が見られる)です。倒木危険の確率が高まる腐朽率50%以上には達していません。しかしながら北側及び西側の根の腐朽が酷く又、美術館のモニュメントの導線ともなっており街路樹という特性上徹底した処置が求められると判断します。

測定結果



凡例 ▶ :データの終点 ◻ :腐朽(空洞)部 bark:樹皮 intact:健全 decay:腐朽(空洞) ◀ :データの開始